

社 会（公民的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 公民
17	教 出	中学社会 公民 とともに生きる
46	帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
116	日 文	中学社会 公民的分野
225	自 由 社	新しい公民教科書
227	育 鵬 社	新しいみんなの公民

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例
		② 公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手順
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	各大項目のページ数
		⑨ 社会参画への意識を高める工夫	「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

【社会（公民的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治の考え方と役割」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」とし、タイトルの上に「国と地域の、役割分担」「住む人の意思を、どう生かす?」「地域を守る・暮らしを守る」「今すぐ、できることもある」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体には、どのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされているのでしょうか。」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」とし、タイトルの下に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「住民参加とこれからの地方自治」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民の参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われるのでしょうか。」 ○ 「地方自治体はどのように仕事を行っているのでしょうか。」 ○ 「国や地方自治体は、地方財政にどのように取り組んでいるのでしょうか。」 ○ 「地域社会が抱える課題に対し、私たちは何をすることができのでしょうか。」
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国の政治と比べて、地方の政治にはどのような特徴があるのだろうか。」 ○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか。」 ○ 「私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの暮らしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治の現状と今後の課題」「地方自治と私たち」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」「～とは何でしょうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「暮らしを支える地方自治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治とはどのようなものなのでしょうか。なぜ必要とされるのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体とは何でしょうか。それはどのようなしくみなのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体と国にはどのような関係があり、地方自治の今後にはどのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していけばよいのでしょうか。」
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方公共団体の仕組みと課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」 ○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どう変わってきただろうか。」
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方の政治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治において住民の声を生かすために、どのようなしくみがあるのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例

現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「解決のための話し合い」の次に、「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」について、絵図で示している。 ○ 「見直した決まりの評価」では、「決まりの評価表」を表で示している。 ○ 「いちごを効率的に配分するには」という課題を、絵図で示している。 ○ 「日本国憲法に定められた家族」「旧民法と新民法の比較」「社会集団の例」「物事を決定する方法」「採決の方法」「契約書の例」「Win-Win」「対立と合意、効率と公正」を絵図等で示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ ごみ収集所の新たな設置を例に、「ルールをつくってみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール」「社会集団の広がりと主なルール」「受け継がれる京都の景観」「話し合いと決定の主な方法」「効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス」「じゃんけんは公平か」を絵図等で示している。 ○ 「考えたルールを評価しよう」では、「評価カード」を表で示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。 ○ 「防災備蓄倉庫の運用規則は変えられる？」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団の例」「家族の役割」「家事分担での「win-winの関係」の例」「本書で扱う「意見が対立するテーマ」の例」「対立からよりよい合意へ」「合意を検討する観点の例」を絵図等で示している。 ○ 「効率と公正から考えよう」では、「コンビニエンスストアのレジの例」「テーマパークのアトラクションの例」の2つを絵図で示している。 ○ 「決定を行う方法を考えよう」では、「決定を行う方法の例」を4つの絵図で示している。

【社会（公民的分野）】

現代社会をとらえる見方・考え方を理解させるための具体例 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い）	
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法を考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「合唱コンクールの練習スケジュールを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団のきまりや役割の例」「さまざまな場面でのきまり」「家族構成の変化」「慣習・道徳・法」「家族にかかわる民法の変化」「さまざまな対立の例」「国会での話し合いのようす」「近江商人の「三方よし」」「対立と合意、効率と公正の関係」「ケーキの分け方における効率と公正」「外国人向けの広報誌」「ウェブサービスの利用規約」を絵図等で示している。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、文章で「体育館使用問題①－対立」「体育館使用問題②－合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③－合意形成後の対立」「体育館使用問題④－決まりをつくる」の順で表や文章で示している。 ○ 「やってみよう」として、「自分たちの学校で、体育館使用問題以外に決まりを決めた方が良い問題があるか、話し合ってみよう。もしあれば、体育館使用問題にならって、いろいろ話し合ったり、行動したりしてみよう。」という課題を、文章で示している。 ○ 「代表的な利益社会の例」として、「企業の研修会」「趣味で集まったクラブ」の写真を示している。
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「部活動の平日のグラウンド割りを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「「効率」「公正」の観点から適切？話し合ってみましょう。」「合意の仕方について考えてみましょう。」「ルールの見直しについて評価しましょう。」について、絵図で示している。 ○ 「祭りで神輿を担ぐ中学生」「つながりの強さを感じる時」「家庭の役割」「親等図」「三世代世帯と核家族世帯」「家族構成の変化」「共働き世帯数の推移」「保育施設への苦情」「隣近所との上手なつきあい方はどれだと思うか」に対する考え」「地域共生社会の実現へ向けての取り組み」「ケーキの分け方」「win-winの例」「対立を合意に導く考え方」「雇用契約書（例）」「ルールの評価法」「ルール（きまり）の具体例」「競技規則が変更された例（サッカー）」を絵図等で示している。

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方法	国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
東 書	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家は、国を象徴する国旗や国歌などを定めています。国旗や国歌などにはその国の歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成11）年に「国旗及び国歌に関する法律」を制定し、日章旗を国旗、「君が代」を国歌と決めました。国どうしの関係ではお互いが主権国家であることを尊重し、他の国の国旗や国歌などを大切にしなければなりません。」 ○ 写真「独立を喜ぶ南スーダンの人々」「国際連合本部の前に並ぶ加盟国の国旗」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「沖ノ鳥島と、護岸が造られた北小島」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」 ○ 写真「竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「樺太の真岡から函館への引きあげ」「尖閣諸島の島々」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「李承晩ライン」「北方四島の位置」「沖縄返還協定でアメリカから日本に返還された範囲」 ○ 新聞「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」
教 出	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、「日章旗（日の丸）」を国旗、「君が代」を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げるとは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」 ○ 写真「東京2020パラリンピックの表彰式で掲げられた国旗」「国歌を斉唱するサッカー日本代表」 ○ 絵図「南アフリカ共和国の国旗の変化」 ○ 側注「1999年の国会において、当時の首相は「君が代には、日本の繁栄と平和への願いがこめられている」という考え方を示しました。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌の歴史」 ○ 絵図「威臨丸」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「「北方領土の日」の住民大会」「北方領土返還を求める看板」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 地図「北方領土」「日本の国土とその周辺」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「なぜ、外交の役割は重要なのだろう」の一部 ○ 写真「尖閣諸島周辺の海を警備する、海上保安庁の巡視船」「折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会」
帝 国	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、「日章旗（日の丸）」が国旗で、「君が代」が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」 ○ 写真「拉致被害者の帰国」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「尖閣諸島沖を航行する海上保安庁の船と中国船」 ○ 地図「尖閣諸島の位置」「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」「竹島の位置」 ○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
日 文	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国家と国家主権」 ○ 本文「(前略) すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で「日章旗」を国旗、「君が代」を国歌としています。」 ○ 写真「2020 東京オリンピックの表彰式」「G20 大阪サミットに出席する各国首脳」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「護岸工事前と護岸工事後の沖ノ鳥島」「西之島」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 絵図「北方領土周辺」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」の一部 ○ 写真「元島民らによる洋上慰霊」「竹島の日」式典」「尖閣諸島付近で海上保安庁の巡視船には含まれた中国政府の船」
自 由 社	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」 ○ 写真「リオデジャネイロオリンピック開会式」 ○ 脚注「ここがポイント！③国際社会では相互に国旗・国歌への敬意が求められている。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌を考えてみよう」 ○ 写真「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」「日の丸を手に、日本の伝統文化をすすめるイベントに参加する和服姿の女性たち」 ○ タイトル「「日章旗」の意味」「君が代」の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」 ○ タイトル「どこの国の国歌だろう？」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「わが国の領域」 ○ 写真「沖ノ鳥島」「南鳥島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「わが国の領土問題」 ○ 地図「1855 年の日露通好条約で決められた国境」「李承晩ライン」 ○ 年表「北方領土問題の主な歴史」 ○ 写真「銃撃された日本の海上保安庁の巡視船」
育 鵬 社	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成 11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」 ○ 資料「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」 ○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国歌「君が代」の意味」 ○ 資料「各国の国歌の大意」（アメリカ、中国、フランス、イギリス）「世界の国旗のデザイン」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「尖閣諸島の魚釣島付近の領海に侵入した中国船を追走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「日本の排他的経済水域と延長大陸棚」 ○ 絵図・写真・解説「日本の主権範囲」の中に「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」「日本の最南端、沖ノ鳥島と護岸工事がほどこされた沖ノ鳥島の北小島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題」 ○ 地図「北方領土」「韓国側が主張する李承晩ライン」 ○ 写真「択捉島の街並み」「尖閣諸島」「竹島」 ○ 新聞「竹島は日本領」 ○ グラフ「尖閣領海内への中国公船の月別侵入隻数（延べ数）」

【社会（公民的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方法	「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例

「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例	
東 書	<p>【課題】 持続可能な社会の実現に向けて、私たちには何ができるのでしょうか。</p> <p>【資料】 絵図 「社会的な見方・考え方を働かせて身に付けた資質能力」 表 「人間と自然環境との相互依存関係」「持続可能性」「推移に関わる視点（継続）」「対立と合意」「希少性」「持続可能性」</p> <p>【本文】 「これまでの社会科の学習を思い起こし、「効率と公正」といった社会的な見方・考え方を活用することも大切です。」</p>
教 出	<p>【課題】 私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう</p> <p>【資料】 イメージ図 「作品の作成～振り返りのイメージ図」 文書資料 「四つの視点とは」</p> <p>【本文】 [表現方法の選択] 「私の提案」は、物事を空間的にとらえる「地理」の見方や考え方、物事の時間的な流れに着目する「歴史」の見方や考え方、さまざまな視点から現代社会をとらえる「公民」の見方や考え方など、これまでの社会科での学びを総動員して作成する。 [自分にとっての持続可能な未来とは] 「私の提案」のまとめとして、「持続可能な未来のために大切にすべき見方や考え方とは何か」、「自分にとっての持続可能な未来とは何か」という「考え続ける問い」に対し、自分なりの答えを考えてみよう。」</p>
帝 国	<p>【課題】 持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題について考察、構想し、自分の考えを論述します。</p> <p>【資料】 吹き出し 「「民主主義」の観点で考えてみたい。」「「効率と公正」の観点で考えてみるよ。」 絵図 「「個人の尊重」に着目」「空間的な広がり」や「推移」に着目」「「持続可能性」に着目」「「希少性」や「協調」に着目」「人口に応じた調整だけでいい?」「増加する医療費にどう対応するのか?」「高福祉には高負担が必要」「日本の難民受け入れ数は少ない」「これまでの考察をもとに、レポートを書いてみよう。」 文書資料 「一票の格差とは?」</p> <p>【本文】 「あるテーマについて、さまざまな立場から意見を出し合うことで、より効率的で公正な解決策が見つかります。」</p>

【社会（公民的分野）】

「よりよい社会を目指して」における、見方・考え方を働かせるための記載例	
日 文	<p>【課題】 これからの社会をどんな社会にしたい？</p> <p>【資料】 「まどかさんの考察」 考察内にある「位置」に関する文章、グラフによる「比較」、「効率と公正」に関する「効率と公正の観点から」と題する文章 表 「どの程度の効果があらわれているかを表す統計資料はあるだろうか。」 「自分の提案は、実現が可能なものになっているだろうか。」 「自分の提案は、効果があるものになっているだろうか。」</p> <p>【本文】 「これまで地理・歴史・公民の授業で身に付けてきた知識や、見方・考え方を使うことで、課題についてさまざまな面から考察することができようになります。」</p>
自 由 社	<p>【課題】 ディベートをやってみよう</p> <p>【資料】 文書資料 「論題の例」 ・政治の仕組みに関して ・安全保障の方針に関して ・環境問題への対応に関して</p> <p>【本文】 「社会のなかでさまざまに生じる対立から合意を形成していくためには、無駄のないように効率も配慮して、公正に議論する必要がある。」</p>
育 鵬 社	<p>【課題】 これからの社会に加わる私たちが、持続可能な社会（将来の世代が必要とするものを満たしつつ、現在の私たちの世代をも満足させる社会）を築いていくという観点からよりよい社会をつくっていくためにはどうすればよいのでしょうか。</p> <p>【資料】 絵図 テーマを決める～ウェビングマップの作成 表 テーマ例「社会」「政治・経済」「国際」「環境・食料」</p> <p>【本文】 「地理」では日本と世界の地理的な特色やそれぞれの関係について、「歴史」では世界の歴史を背景に日本の歴史の大きな流れについて学びました。そして「公民」では、現代の日本社会の特色や、現代社会をとらえる見方や考え方を学習しました。 地理・歴史・公民で身に付けた視点や方法を働かせ、レポートに書いたり、プレゼンテーションをしたりして表現する活動をします。</p>

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤学習のまとめの工夫
方法	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例

単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
東 書	<p>○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、2ページを使い、「コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面（立地条件）から中心に考えました。導入の活動で作成したマトリックスを参考に、改めてA市、B市、C市からあなたが出店したいと思う1か所を選んで、(1)～(4)について考えましょう。」と示している。</p> <p>(1) 長く続けられるお店、持続可能なお店とはどのようなお店なのでしょう。これまで学習した以下のポイントを参考に、改めて経営者（店舗）、労働者、消費者の視点で整理し直しましょう。その際、Yチャートを使うと、上記3点の視点で整理しやすくなります。</p> <p>(2) この地域に必要なお店としてさらに発展していくために、さらなるサービスの拡充を図ろうとしています。どのようなサービスを優先的に行っていくべきか、次の1～6の項目を参考に、一つ選びその理由を考えましょう。</p> <p>(3) グループの中でサービスの優先順位を発表し合ひましょう。そして実現可能かどうか、効率・公正、希少性、持続可能性の観点で問題はないかなど、意見を交換しましょう。</p> <p>(4) グループでの発表、話し合いを受けて、改めてどのサービスを優先的に行っていくのか、理由と合わせて考えましょう。</p> <p>○ 第4章の探究課題を解決しよう 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p>
教 出	<p>○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、3ページを使い、「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」と学習課題を設定している。学習活動として、STEP! ①②を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STEP! ①「第4章の学習のはじめに」(p.130～131)を振り返ろう 以下の問いに答えながら、第4章の学習を行う前の自分の意見と比べてみよう。 ① p.130の「給食作り」における分業の長所を考え、思いつく限りあげてみよう。 ② 「給食作り」における分業に短所があるかどうか、考えてみよう。 ③ p.131のQ6で自分があげた「分業と交換」の例について、「効率と公正」の視点からとらえ直してみよう。 ④ p.130の事例で、もっと多くの給食を作るためには、どのような工夫が考えられるだろうか。 ・ STEP! ②「第4章の問い」について考えよう 第4章「私たちの暮らしと経済」の問い 私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。 〔1〕企業の経済活動がない場合、社会はどうなってしまうだろうか。以下の「見方・考え方」を参考に、具体例をあげながら考えてみよう。[見方・考え方：分業と交換] 〔2〕家計における「消費者」や、企業における「労働者」など、経済活動をになう一員として今後の日本経済を考えたときに、どのようなことが大切だと思うか、第4章の「見方・考え方」を参考に自分の意見をまとめよう。[見方・考え方：対立と合意 効率と公正 分業と交換] 〔3〕〔2〕で考えた自分の意見をグループで発表し合い、意見や考えをマインドマップにまとめてみよう。 〔4〕第4章のテーマ「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」について、〔3〕も活用しながら自分の意見をまとめよう。

単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
帝 国	<p>○ 「経済活動と私たち」の単元末において、1ページを使い、「各節の学習や「学習の前に」を振り返り、章の問いをまとめよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「①「学習の前に」を振り返ろう。」「②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。」と示している。</p> <p>①「学習の前に」を振り返ろう。</p> <p>(1) p. 116～117 のイラストを振り返り、人と人の中で交換が行われている場面を探し、右の表の①、②にまとめてみよう。</p> <p>(2) (1) で見つけた場面は、経済活動においてどのような役割を果たしているのか、家計、企業、政府の関係性に着目して右の表の③にまとめよう。</p> <p>(3) (2) で作成した表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。</p> <p>②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。</p> <p>1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。</p> <p>ステップ1</p> <p>(1) 下線部 (A) (B) に当てはまる語句を漢字2字で考えよう。</p> <p>ステップ2</p> <p>(1) クラゲチャートを用いて、下線部 (C) のアイデアを出そう。</p> <p>(2) (1) について、周りの人と意見交換をしながら、下線部 (C) をまとめよう。</p>
日 文	<p>○ 「国民の生活と政府のはたらき」の単元末において、2ページを使い、「章のまとめをしよう」と学習活動を示している。学習課題として、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」「章の問いに答えよう」と示している。</p> <p>ニュースを見方・考え方から見てみよう</p> <p>①失業した人は雇用保険によってお金を受け取ることができます。雇用保険は社会保障の四つの柱のうち、どれに含まれるでしょうか。</p> <p>②失業者が増えているとき、景気はどのように変化していくと考えられますか。</p> <p>③失業した人を社会全体で支えるべき理由を、効率と公正の見方・考え方を使って説明してみましょう。</p> <p>○ 章の問いに答えよう</p> <p>①これまで学習してきたことをもとに、章の問いをまとめましょう。 マトリックス (表) を使って考えてみよう (財政の3つの役割に基づいて学習内容を整理してみよう。)</p> <p>②自分の考えがまとまったら、グループになって意見交換をしてみよう。その後、みんなの意見を参考に、新たに気づいたことや足りなかった部分をふまえて、考えをまとめよう。</p>
自 由 社	<p>○ 「国民生活と経済」の単元末において、1ページを使い、学習活動として「学習のまとめと発展」を示している。「学習の発展」として、「第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。」と学習課題を示している。</p> <p>①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。</p> <p>②新しく開発された商品は経済生活を豊かにすると同時に、社会に悪い影響をあたえることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。</p> <p>③市場経済では、商品売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。</p> <p>④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢社会の中で、年齢制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどんなものがあるか、いろいろ考えてみよう。</p> <p>⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。</p>

単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
育 鵬 社	<p>○ 「私たちの生活と経済」の単元末において、2ページを使い、学習活動として「経済のこれから」とし、「第4章で学んだ内容を振り返りながら、企業の社会的責任（CSR）について考え、これからの社会に求められる企業とはどのような企業か、ポスターツアーを行ってみましょう。」と学習課題を示している。</p> <p>1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみました。</p> <p>2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを運営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、社員になったつもりでSDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみましょう。</p> <p>①「2030年には、こういう会社になっている」というゴールを具体的に示しましょう。</p> <p>②社会に求められる会社をめざすために取り組まなくてはならない課題を、右の4つのテーマにしたがってあげてみましょう（1 イノベーション／2 環境／3 社員と働き方（人権）／4 経営の健全化（ガバナンス））。</p> <p>③②であげた課題の解決のために実行すること（Do）を考え、具体的に提案してみましょう。</p> <p>④③で提案した内容を、「社会課題の解決や、会社と社会が共有する価値の創造に結びつくものになっているか」という視点で、評価（Check）してみましょう。</p> <p>⑤④の評価を受けて改善（Act）し、グループの「行動計画2030」をポスターにまとめ、ポスターツアーを行いましょう。</p>

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例

	各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て	具体例（私たちと経済）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どのような」「どのように」の問いを示している。 ○ 導入の活動として「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」という課題を、絵図、表で示し、キャラクターの吹き出しで情報を示している。 ○ 「探究課題」では、キャラクターの吹き出しで「～整理しましょう」「どのように」という問いを、「探究のステップ」では各節の問いを示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p> <hr/> <p>「探究のステップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「消費活動では、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。」 ○ 2節「生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。」 ○ 3節「市場と金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。」 ○ 4節「国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。」 ○ 5節「これからの経済と社会のために、私たちに何ができるのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに4枚の写真を掲載している。それぞれの写真の横や下に、写真の説明文と内容に関する項目とページ数を示している。 ○ 導入の活動として、「よりたくさんの給食を作るためには」という課題を、漫画で示している。 ○ 学習の見通しとして、各節のテーマと問いを示している。また、章全体の問いを示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「私たちの消費生活は、経済活動とどのようにつながっているのだろうか。」 ○ 2節「生産活動をになう企業にはどのような役割と責任があり、働く人たちはどのように関わっているのだろうか。」 ○ 3節「市場経済は、どのようなしくみと機能をもつのだろうか。」 ○ 4節「金融や財政のしくみは、私たちの暮らしにとってどのような役割があるのだろうか。」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。 ○ 導入の活動として見開き2ページに「学習の前に」として、「暮らしのなかから経済を探してみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各場面には関連する本文のページ数を示している。 ○ キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」と第3部で何を学習するのかを示している。 	<p>第3部「経済」 「私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。」</p> <hr/> <p>「はるの市」の「若木地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物をしたり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているか、考えてみましょう。次の場面は、イラストの□ア～□カのどれに当たるか、() に記号を入れてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①購入する商品の代金を支払っている ②店長から給与を受けとっている ③スマートフォンの契約内容を確認している ④市の作業員がごみを収集している ⑤ATM（現金自動預け払い機）を利用している ⑥パン用の小麦を受けとっている

【社会（公民的分野）】

	各単元の導入における 学習の見通しを持たせる手立て	具体例（私たちと経済）
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習のはじめに」として、「ハンバーガーショップから見る経済のしくみ」を設け、漫画で示している。 ○ 漫画についてイラストに吹き出しを加えながら示し、「関係があるのかな」「どういう意味だろう」の問いを2つ示している。 ○ 「第3編第1章の問い」では、第3編で何を学習するのかを示している。 	<p>第3編「私たちの生活と経済」 「私たちの生活を支える経済活動は、どのようなしくみで成り立っているのでしょうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「労働基準法ってどんなことが書いてあるんだろう。」 ○ 「円安の影響で値上げってどういう意味だろう。」 ○ 1節「市場経済において、消費生活はどのような意味で大切なのでしょうか。」 ○ 2節「市場経済において、企業にはどのような役割と責任があるのでしょうか。」 ○ 3節「金融のしくみは、私たちの生活とどのようにかかわっているのでしょうか。」
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページにイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。 	<p>第4章「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの豊かな生活を支える経済の仕組みは、どうなっているのだろうか。」 ○ 「幸せな経済生活とは、いったいどのようなものなのだろうか。」
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真に掲載しており、写真の横や下に説明があり、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どういう」「どうやって」「なぜ」の問いを示している。 ○ 導入の活動として、「経済の入り口」で、「コンビニの経営者と支持者になって、新たなサービスについて考えてみましょう。」という活動を設け、説明文やイラストを示している。 ○ 「どうして経済を学ぶの？」「経済を学習するにあたって」で、第4章で考えること、学ぶことについて示している。 	<p>第4章「私たちの生活と経済」 「経済（「経世済民」）のしくみとはどんなものなのでしょうか。経世済民（「世を経め民を済う」）の世の中にするには、どんな社会を築いていけばいいのでしょうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どういうしくみになっているのかな。」 ○ 「魚はどうやって食卓に届くのだろうか。」 ○ 「郊外に大きなショッピングセンターが増えたのはなぜかな。」 ○ 第1節「私たち消費者は、どのような形で経済活動に関わっているのでしょうか。」 ○ 第2節「経済社会において企業が果たす役割と責任は何でしょう。」 ○ 第3節「金融市場での取引は、国民生活とどのような関係にあるのでしょうか。」 ○ 第4節「国民の福祉実現のため、政府はどのような役割を担っているのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報・技術 ○ 人権・平和（多様性の尊重） ○ 伝統・文化 ○ 環境・（資源・）エネルギー ○ 防災・安全 ○ 近江八幡市を例に、課題の設定（課題の把握）、資料の収集と読み取り（課題探究）、意思決定、提案参加を示している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題の設定（課題把握） 「持続可能な社会の形成者として」 2 資料の収集と読み取り（課題探究） 「持続可能な社会を実現するために」 3 意思決定 4 提案参加 「中間発表（スライド作成）」「最終発表（レポート作成）」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境・資源 ・自然災害 ・環境破壊・公害 ・エネルギー及び資源の枯渇 等 ○ 平和・人権 ・戦争・紛争・テロ ・差別・偏見 ・信仰・宗教の布教と対立 ・体罰 等 ○ 経済 ・経済格差の拡大と貧困 ・日本国内の超高齢・人口減少社会の進展 等 ○ 健康 ・H I V、鳥インフルエンザ、新型コロナウイルスなど感染症・疾病 等 ○ 教育・文化 ・識字率 ・世界遺産・地域遺産の保護と破壊 等 ○ 情報 ・ICT環境 ・PC・インターネット・スマートフォン 等 ○ 犯罪 ・地域や学校などで起こる犯罪・事件 等 	<ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な未来をつくるために、私たちに必要なことはどのようなことでしょうか。 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成するには、どうしたらよいのでしょうか。 3 「私の提案」をもとに対話を行うと、さらにどのような未来が描けるのでしょうか。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会 テーマ「少子化への対応」 ・政府の対策 ・海外の事例 ○ 憲法 テーマ「夫婦別氏の是非」 ・海外の事例 ・裁判所の判決 ○ 政治 テーマ「一票の格差の解消」 ・一票の格差の現状 ・海外のさまざまな選挙区の区割り ・今後の人口動向 ○ 経済 テーマ「増加する医療費への対応」 ・近年の医療制度の改革 ・海外の事例 ○ 国際 テーマ「日本の難民支援のあり方」 ・日本や主な国の難民の受け入れ状況 ・難民条約 ・国連難民高等弁務官事務所の活動 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題を決めよう（課題の設定） 2 資料を集めよう（資料の収集と読み取り） 3 考察しよう（考察） 4 レポートを書こう（構想とまとめ）

【社会（公民的分野）】

	課題例	課題解決の手順
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統・文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の年中行事 ・日本の宗教 ・伝統的な芸術 ・世界遺産 ・観光 ・多文化共生社会 等 ○ 政治・経済 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障、年金 ・財政赤字 ・消費者問題 ・為替相場 ・外交 ・防衛 ・防災 ・減災 ・領土問題 ・世代間の公正 等 ○ 人権・平和 <ul style="list-style-type: none"> ・女性 ・子ども ・外国人 ・アイヌ ・障がいのある人 ・南北問題 ・労働 ・憲法9条 ・核兵器 ・PKO 等 ○ 環境・科学・技術 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化 ・生物多様性 ・循環型社会 ・遺伝子操作 ・臓器移植 ・尊厳死 ・宇宙開発 ・人口知能 ・IoT社会 等 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマの設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察と構想 4 まとめと評価
自由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の国際貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・環境のための国際貢献 ・日本型ODA ・平和のための国際貢献 ○ 日本の安全と世界の安全 <ul style="list-style-type: none"> ・核兵器廃絶とわが国 ・わが国の生き残りを ・人間の安全保障を ○ 持続可能な日本と世界 <ul style="list-style-type: none"> ・世界に貢献する基礎 ・持続可能な世界 ・良い公民になるために 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題をみつけよう 2 選択した課題について調べよう 3 解決の方法を考えてみよう 4 卒業論文にまとめる
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会 <ul style="list-style-type: none"> ・世界をおもてなしできる国 ・子どもの笑顔があふれるまち ・元気で100歳！みんながイキイキしている社会 ○ 政治・経済 <ul style="list-style-type: none"> ・地方がキラキラしている国 ・ものづくりのまち ・働く喜びを実感できる社会 ○ 国際 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界のお医者さん」と呼ばれる国 ・世界の平和と安全に貢献する国 ・クールジャパンを発信する企業 ○ 環境・食料 <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑と風薫る国 ・「もったいない」精神のまち ・省エネ推進社会 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めよう 2 課題探求の計画を立てよう 3 プレゼンテーションしよう 4 内容の見直し 5 レポート作成

【社会（公民的分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧単元や資料等の配列・分量
方法	各大項目のページ数

	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東書	31 ○ 現代社会と私 たち	52 ○ 私たちの暮らしと経済	92 ○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	43 ○ 地球社会と私 たち ○ より良い社会を目指して	28
教出	26 ○ 私たちの暮らしと現代社会	64 ○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して豊かに暮らせる社会	90 ○ 個人を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	44 ○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちが未来の社会を築く	46
帝国	28 ○ 現代社会	66 ○ 経済	86 ○ 政治	43 ○ 国際 ○ 課題探究学習	39
日文	32 ○ 私たちと現代社会	60 ○ 私たちの生活と経済	90 ○ 私たちの生活と政治	43 ○ 私たちと国際社会	49
自由社	42 ○ 現代日本の自画像 ○ 個人と社会生活	44 ○ 国民生活と経済	78 ○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	60 ○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	46
育鵬社	28 ○ 私たちの生活と現代社会	54 ○ 私たちの生活と経済	80 ○ 私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則－ ○ 私たちの生活と政治－民主政治と政治参加－	36 ○ 私たちと国際社会の課題	64

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨社会参画への意識を高める工夫
方法	「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
東 書	<p>○ 「現代の民主政治と社会」の章末において、2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし、あなたがS市の議員になったつもりで、まちをより活性化させるために、地方公共団体の法である「条例」の案を作って、議会に提出しましょう。」を示し、学習活動を設定している。</p> <p>(1) あなたが考える活気あるまちを、ステップチャートの「理想のまち」欄に記入しましょう。</p> <p>(2) S市の課題を見て、あなたが解決したい課題を一つ選び、「課題」の欄に記入しましょう。</p> <p>(3) 課題を解決し、まちに活気を取り戻すための解決策を考えて、グループで意見交換しましょう。グループでの話し合いを受けて、より良い解決策を考え、「解決策」の欄に記入しましょう。</p> <p>(4) 解決策を決まりの形に整え、「条例案」の欄に記入しましょう。その際、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点や、次の点を参考にしましょう。</p> <p>(5) あなたが暮らすまちがかかえる課題を調べてグループで話し合い、それを解決するためにどのような条例があったらよいか、ステップチャートを活用して考えましょう。</p> <p>○ 章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで、「持続可能性」、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点到に着目してまとめるよう示している。
教 出	<p>○ 「私たちの暮らしと民主政治」の章末において、3ページを使い、第3章の「日本国憲法に基づいてよりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか。」の問いをこれまでの学習を振り返りながら自分の意見をまとめる学習活動を設定している。</p> <p>①各節で学習したことを振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1節ごとに学習したキーワードや問いに対する答えをまとめる。 <p>②「第3章の学習のはじめに」を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のはじめに」で答えた回答と「これまでの学習をふまえた現在の回答」を比較する。 ・変化があった場合、変化の理由を書き出す。 ・「第3章の学習のはじめに」で意見交換した友だちと、再度意見交換する。 <p>③「第3章の問い」について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章の問いに対する答えと、その考えた理由をクラゲチャートを使って整理する。 ・クラゲチャートに記入した内容について、「見方・考え方」とつながる部分に線を引く。 (視点：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義) ・クラゲチャートを参考にして記述する。 <p>④未来のためにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合唱コンクールで歌うクラスの曲をどうするか」の話し合いについて考える。 ・神奈川県川崎市の高校生が、川崎のまちを舞台にプロジェクトを企画して実行する「川崎ワカモノ未来PROJECT」に関する資料を読んで、あとの問いについて考える。 <p>○ 「次章の学習に向けて」を設け、第3章までの学習をふまえて、キャラクターの吹き出しの意見に対する現在の考えを書かせる。</p>

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
帝 国	<p>○ 「政治と私たち」の章末において、2ページを使い、「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」という学習活動を設定している。学習課題として、「地方自治の役割や地方公共団体の仕事、財政状況などを学習しました。自分が住むまちをよりよくするための予算案を作成してみよう。」と示している。</p> <p>1 まちの課題と対策カードを使って考えよう 調べたまちの課題と、調べた課題の対策をカードに書いてグループで持ち寄ろう。／同じテーマや関連のあるカードごとにまとめて、共通するタイトルカードをつくろう。／カードのまとめごとに〈関連〉〈対立〉〈原因と結果〉など、関係性がわかるように配置を工夫しよう。／整理した対策のなかから、四つを選び、歳出のどの項目に当たるか考えよう。／住民の立場に立って、予算案を考えます。それぞれどのような困りごとがあるか話し合ってみよう。</p> <p>2 対策の優先順位と町の政策方針を考えよう 住民のいずれかの立場に立って、1で選んだ四つの対策に優先順位をつけてみよう。／「安全・安心」「福祉・教育の充実」「経済の活性化」「環境対策」のなかから、まちの政策方針の一つ選ぼう。</p> <p>3 まちの魅力を生かす予算案を作成しよう 2で考えた対策の優先順位と政策方針をもとに、下のア～キのなかから増やす歳出項目と減らす歳出項目を考えよう。／予算案を円グラフにまとめて、キャッチフレーズをつけてみよう。</p>
日 文	<p>○ 「私たちの生活と政治」の編末において、2ページを使い、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習課題を設定している。「あなたの住むまちで、首長を選ぶ選挙が行われることになりました。まちの課題について調べ、よりよいまちづくりが期待される首長を選ぶ、模擬選挙をしてみましょう。」と示し、学習活動を設定している。</p> <p>1 まちの課題を出し合おう ・あなたの住むまちには、どのような課題があり、その課題に対して地方公共団体はどのような取り組みを行っているのでしょうか。調べてみましょう。 地理や歴史で学習した内容からも考えてみましょう。／インターネットで、地方公共団体のウェブサイトを見てみましょう。 ・調べた課題のなかから、特に重視したいものを一つ選びましょう。 ・グループになり、選んだ課題や選んだ理由を共有しましょう。</p> <p>2 政策について検討してみよう ・あなたのまちの首長に、次の3人が立候補しました。候補者の政策案について検討してみましょう。 ・これまでに調べた地域の課題と候補者の政策案を比較して、政策に付け加えて欲しいことがあれば発表しましょう。／全く新しい政策案があれば、新たに架空の候補者を立てても構いません。</p> <p>3 模擬選挙をしてみよう ・支持する候補者を選び、投票しましょう。／模擬選挙の結果が出たら、よりよいまちづくりのためにはどのようなことが大切か、あなたの考えをまとめてみましょう。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しで「どのような」「～はあるかな」「～できるかな」「どうなっているのかな」等の問いがある。</p> <p>○ 学習活動に関連する内容のページ数が書いてある。</p>
自 由 社	<p>○ 「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において、2ページを使い、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習課題を設定している。食料問題・防災問題・防犯問題について、調べ、話し合い、グループでまとめ、発表する活動を設定している。</p> <p>・皆さんの発言から、防衛問題だけではなく、①食料問題、②防災問題、③防犯問題、④水問題、⑤医療保険問題、⑥エネルギー問題が広い意味の安全保障問題として考えられるね。④水問題と⑤医療保険問題とは第4章で、⑥エネルギー問題は第5章で学びますから、残りの3つの問題について研究しましょう。</p> <p>4～6人の班を作って、図書室やインターネットを利用し、わが国の現状について調べ学習をしましょう。各々が調べた内容を持ち寄り、話し合っ、600字程度で班としての研究結果をまとめましょう。</p>

【社会（公民的分野）】

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
育 鵬 社	<p>○ 「私たちの生活と政治」の章末において、2ページを使い、「政治のこれから」という学習活動を設定している。学習課題として、「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か、考えてみましょう。」と示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住むまちの特色と課題を調べよう 自分たちが住む地域の課題を解決し、特色を生かして、より良くするためにはどうすればいいでしょうか、どのような課題があるか、どのような特色があるか、1項目ずつカードに書き出してみましょう。 ・カードを整理しよう 模造紙に関連のあるカードごとにまとめて整理し、見出しを付けてみましょう。 ・テーマについてランキングを付けよう ①見出しをつけた項目について同時にすべて取り組むことはできません。そこで重要度や必要度に応じて、ランキング（順位づけ）をして、ピラミッド型に配置して自分自身のランキングシートをつくりましょう。／②次に班（4～6人）をつくり、全員で一致する1つのランキングシートをつくってみましょう。／③クラス全体の意見を集約し、クラスのランキングシートをつくってみましょう。

【社会（公的分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方法	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類及び掲載数							
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	文書資料	二次元コード
東書	55	123	3	45	12	2	16	47
教出	47	78	4	55	3	3	6	10
帝国	47	79	4	47	3	1	5	14
日文	60	110	3	61	9	2	16	44
自由社	27	71	0	14	4	0	4	0
育鵬社	44	116	3	33	13	1	32	2

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

	フォント・グラフ	レイアウト等
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには、背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開きページ右側のインデックス、左ページの下部への記載で、学習内容を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、全ての重要語句にルビが付いている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。

【社会（公民的分野）】

	フォント・グラフ	レイアウト等
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要語句は、ゴシック体（太字）を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは色を変えている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ 見開きページの隅の色分けと、見開きページ左下の文字で、学習内容を示している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふりがなには、ゴシック体を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切ったり色を変えている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、主となるグラフの中に違うデータが含まれる場合は、色を変えたり斜線を入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。